

プロジェクト学習1 ニュースレター

2018.5.22/初巻

授業参観が始まりました！

5月より「プロジェクト学習1」の授業参観が始まりました。このニュースレターでは、授業参観を通して見た、それぞれの先生方の授業の仕方や学生の様子などをお知らせしていきます♪どうぞご覧ください！

こめたに

米谷先生の授業に行ってきました！

第1回目にご紹介するのは、「プロジェクト学習1：命とのかかわりを考えよう」をご担当されている米谷仁志先生の授業です。この授業では、医療資源の分配や死刑制度の是非など、人間の生命倫理に関わる重要なテーマについて、ディスカッションやグループワークをしています。



【LAさんによるスピーチの様子】

この日はスピーチのテーマは「クリティカル・シンキング」。学生の前で堂々と話しています。

授業の最初はLAさんによるスピーチから始まります。クリティカル・シンキングやPREP法（ライティング法の1種）など、議論やレポート作成に役立つ情報を学生さんに教えています。

スピーチ後は、医療資源の分配や死刑制度について、個人で考えたり、グループワークで他の学生との意見の共有をしたりして思考を深めます。それが終わると、最後に自分の意見の発表を行います。

授業のポイント

① LAさんの活躍

米谷先生の授業では、グループワークの促進やコメントなどはLAさんが主体となって行われています。年齢の近いスタッフさんがロールモデルとなり、学生主体の授業づくりがなされています。

② 座席の配置を意識

米谷先生の授業では、ディスカッションや発表によって座席の位置をこまめに変えられています。実際、席の配置を変えることは、緊張感や親密感など気分に影響を与えることが分かっています（山口・鈴木、1996）。このような心理的効果がワークに生かされているのかもしれません。



【円環型の配置】

グループワークで話し合いをしたりする時は、机を円型に配置しています。



【おうぎ形の配置】

発表や先生の話聞く時は、おうぎ形の配置にしています。

～授業の全体の印象～

学生の中には、他の学生とのコミュニケーションを通して、「意見とは対立するもの」「自分の意見に納得してもらうには、理由や根拠を相手に伝えないといけない」と他者と自分の違いに気づき、議論の奥深さを学んでいるようでした

【引用文献】

山口 創・鈴木 晶夫. (1996). 座席配置が気分及ぼす効果に関する実験的研究. 実験社会心理学研究, 36, 219-229.

関西大学 教育推進部 教育開発支援センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

作成者：本元 小百合 お問い合わせは ap-info@ml.kandai.jp まで